

平成25年10月7日

九州地方整備局

同時記者発表先：近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局

国土交通省九州記者会、九州専門建設記者クラブ

瀬戸内海地域の連携（リフレッシュ瀬戸内）に約4.7万人が参加！ ～ 瀬戸内地域の海岸約230箇所では約300トンのゴミを回収 ～

『瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）』[※]は、「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に、平成5年より市民ボランティア等、地域の方々とともに海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を実施しています。

今年度も、地域の方々のあたたかいご協力のもと、「リフレッシュ瀬戸内」を実施しましたので、結果概要をご連絡致します。

『平成25年度「リフレッシュ瀬戸内」実施結果概要』

- 実施期間：平成25年6月～8月（3ヶ月間）
- 実施場所：近畿、中国、四国、九州の瀬戸内海沿岸地域の海岸等
- 延べ参加人数：約47,000人
- 回収されたゴミの量：約300トン以上

過去21年間の活動を通じ、延べ約177万人の参加をいただき、約17,300トンのゴミを回収するに至りました。引き続き、海ネットは瀬戸内地域の環境改善や魅力発信、防災対策の推進等に取り組んでいきます。

※『瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）』とは

本協議会は、瀬戸内海の歴史の重み自然の恵みを活かして、瀬戸内の各地域が一体となり海を活かした地域づくりを考え実践することにより、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、平成3年5月に設立されました。

この協議会は、瀬戸内海沿岸の107の市町村と11府県^{注1)}の会員と、協議会活動を幹事や事務局としてサポートする国土交通省地方機関^{注2)}で構成しています。

推進協議会では、「魅力検討活動」「環境事業活動」「情報発信活動」「防災」の4部門毎に実行委員会を設け、年間を通じて様々な活動を行っています。

「リフレッシュ瀬戸内」は、美しい瀬戸内の海を守るため、環境事業活動の基幹的な事業の一つとして取り組んでいるものです。

注1) 大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県

注2) 近畿・中国・四国・九州の各地方整備局港湾空港部、地方運輸局及び神戸運輸監理部

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 苔口、大波多

TEL：092-418-3379（直通）

1. 九州地方整備局管内の市町村別ゴミ回収量及び参加人数

市町村名	ゴミ回収量	延べ実施箇所数	参加人数（人）
北九州市	約 4 トン	2	470
別府市	約 9 トン	4	2,326
姫島村	約 1 トン	1	132
計	約 14 トン	7	2,928

2. 実施結果の詳細について

府県名	ゴミ回収量（t）	延べ実施箇所数	延べ参加人数（人）
大阪府	5.81	9	1,719
兵庫県	25.72	20	6,862
和歌山県	10.00	5	427
岡山県	13.47	10	3,243
広島県	50.64	23	5,633
香川県	85.21	46	7,066
徳島県	15.15	10	3,493
愛媛県	42.59	72	5,824
山口県	51.00	24	10,326
福岡県	4.1	2	470
大分県	9.6	5	2,458
合計	313.29	226	47,521

3. 清掃状況（別府市 的ヶ浜：8月13日）

